

絆

第12号

- 特集 12月1日開院 小樽市立病院
 - ・主な診療の流れ
 - ・1階フロアマップ
 - ・新しい診察券について
 - ・病室のご案内
 - ・駐車場・バス停について
- 10月11月着任の医師 / 診療内容



OTARU GENERAL HOSPITAL

今号の表紙 小樽市立病院ヘリポートにて

ロゴマークが決まりました！

12月1日開院の小樽市立病院で使用する病院のロゴマークを公募したところ、全国より505通の応募がありました。

大変優秀な作品が多く、難しい選考となりましたが、厳正な審査の結果、下記デザインに決定しました。ご応募いただき、ありがとうございました。



小樽市立病院
OTARU GENERAL HOSPITAL

コンセプト

小樽の「小」を表すとともに、市の鳥「アオバト」を表現したマークです。

丸は人を表し、想いをのせて大空を舞う鳥をイメージしています。

3本の線は「信頼」「親しみ」「社会貢献」を象徴し、

配色は小樽の豊かな海、山を意味しています。

デザイン：

宮崎県宮崎市 グラフィックデザイナー 児島 満(こじま みつる) 様

12月1日開院に伴う休診・引っ越しについて(両院共通)

- ・11月25日(火)、26日(水) 原則として再来患者さんのみの診療となります。
- ・11月27日(木)、28日(金) 休診させていただきます。
- ・11月30日(日) 入院患者さんのお引っ越し

12月1日の開院に合わせ、ホームページも新しくなります。

New

小樽市立病院ホームページ

小樽市立病院

検索

<http://www.otaru-general-hospital.jp>

※新しいサイトは12月1日からご覧いただけます。(現病院の情報は現在のサイトよりご覧ください。)

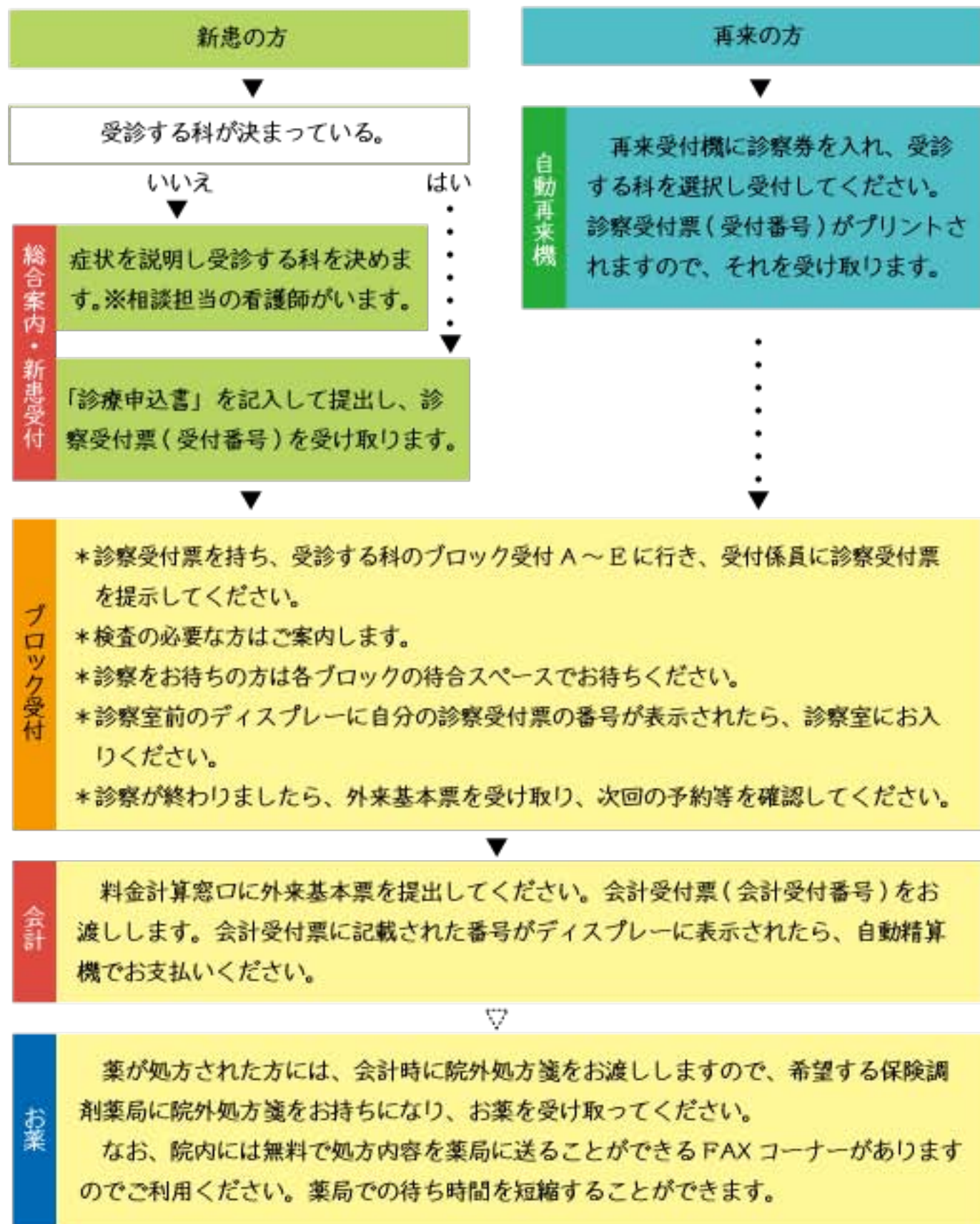
病院広報誌「絆」発行 小樽市立病院 編集 広報誌・HP部会 【事務局】経営管理部管理課 TEL 0134(25)1211 内線 304



新「小樽市立病院」主な受診の流れ・1階フロアマップ



主な受診の流れ



1階フロアマップ



診察券が 変わります



11月に市立小樽病院、または小樽市立脳・循環器・こころの医療センターを受診された方には、新病院で使用する診察券を事前にお渡しします。

現病院の診察券をお持ちで12月以降に新病院で受診される方は、新患・再来窓口にて診察受付前に交換いたしますので、今までお使いの診察券をお持ちください。

※ ご不明な点は、院内スタッフに遠慮なくお尋ねください。

小樽市立病院 病室一例

※ベッド、備品等の入っていない状態です。

4 床室



病室の壁は、山側の西病棟がグリーン、海側の東病棟をブルーとし、落ち着いて療養できるような配色にしました。一部の病棟以外は、床頭台を家具化し準個室化を図りました。

一般個室



病室内にシャワーユニット、トイレを備え、利便性とプライバシーに配慮しました。お子さん向けのキャラクター壁紙の個室も 2 室ご用意したほか、看護度の高い方などが利用する個室もご用意しています。

一般個室 34 室、重症個室 51 室、室料差額 3,240 円(1 日につき・消費税込)

特別室



じゅうたんが敷かれたフローアー、それぞれ独立したユニットバス、トイレに加え、ミニキッチンも設置しました。

特別室 2 室、室料差額 10,800 円(1 日につき・消費税込)

市立病院前バス停が新設されます

12 月 1 日からの中央バスの冬ダイヤ運行に伴い、小樽市立病院前に「市立病院前」のバス停が新設されます。(ばるて築港線など)

病院をご利用される方は、病院前で降車でき、大変便利になります。

時刻表は、小樽市立病院内に掲示しますので、来院された際にはそちらでご確認ください。



臨時駐車場のご案内

小樽市立病院では、12 月 1 日の開院後、臨時駐車場を下記のとおり 3 か所ご用意いたします。

新駐車場は現市立小樽病院の解体後に整備を行い、来秋にはご利用可能となります。

ご来院の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いたします。また、臨時駐車場は、駐車台数が限られておりますので、なるべく公共の交通機関でお越しくださいますようお願い申し上げます。



内科 / 糖尿病

中垣 整 (なかがき おさむ)



みなさんこんにちは。10月より着任いたしました中垣整です。私は小樽生まれで、高校時代までを小樽で過ごし、このたび故郷に戻って参りました。専門分野は糖尿病で糖尿病専門医です。

糖尿病は膵臓から出るインスリンという血糖値を下げるホルモンの出る量が少なかったり、効きが悪くなったりして血糖値が上がっていく病気です。インスリンの量が少ない原因としては遺伝(両親や祖父母が糖尿病である)や膵臓の病気(膵炎、膵臓の手術)などがあり、インスリンの効きが悪くなる原因として肥満や薬剤があります。血糖値が高くなっても自覚症状はほとんど出ないため、健康診断などで血糖値が高いですと言われてもなかなか受診しない原因になっています。しかし、血糖値が高い状態で何年も放っておくと全身に合併症が起こり寿命を縮めてしまいます。健診などで「血糖値が高い」と言われた時は必ず病院を受診し適切な検査や治療を受けましょう。

内科 / リウマチ・膠原(こうげん)病

田邊谷 徹也 (たべや てつや)



10月から内科のリウマチ・膠原(こうげん)病外来を担当させていただくことになりました田邊谷徹也です。主に札幌医科大学付属病院(消化器・免疫・リウマチ内科)でリウマチ・膠原病の診療を学んできました。原因不明の発熱や関節痛でお悩みの方は、ぜひ一度ご相談ください。

当科では早期の的確な診断が、適切な治療につながると考えておりますが、原因不明な疾患がほとんどのため、問診・身体診察・血液検査・画像検査などを組み合わせ、より精度の高い診断を心掛けております。多くの方が症状や障害臓器、社会生活上の困難などの問題を抱えているため、他科(院内外)や医療スタッフと連携を取りながら診療を行い、患者さんと共にQOL(生活の質)の維持と向上を目指していきます。専門性の高い治療を行っておりますが、長く付き合っていく疾患が多いため、副作用や通院・経済的問題とも向き合いながら、ご納得いただけるようご説明し治療法を選択していきます。

脳神経外科

川堀 真人 (かわぼり まさひと)



こんにちは。脳神経外科に着任しました川堀真人です。

私は旭川東高校を卒業した後、北海道大学医学部に進学し、卒業後東京にあります国立国際医療センター(現国立国際医療研究センター)にて救急部研修医として主に救急患者の診療について勉強してきました。

その後2005年より北海道大学脳神経外科に戻り、道内の関連施設にて脳神経外科の研修を積みました。

小樽市立医療センターにも2011年4月より11月まで勤務させていただきました。

その後2011年12月より2014年9月まで米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校に留学する機会を頂き、脳梗塞の新たな治療法の研究に従事してきました。

患者さんの気持ちに寄り添い、質の高い医療を提供していきたいと思っています。

放射線科 (12月から放射線治療科)

西岡 健 (にしおか たけし)



はじめまして、西岡です。学生時代、南部先生(市立小樽病院 / 小樽市立脳・循環器・こころの医療センター 放射線科 医療部長)に寿司をごちそうになり、放射線科医になりました。

専門はがん治療です。と、一口にいても範囲は広いです。喉頭癌のように“治す”ものから骨転移に対する“痛み止め”いわゆる緩和ケアまで。ほとんどの治療は、様々な科の皆様と一緒にやって行われます。

ですからいろいろと学ばせていただくことになると思います。

また、この度、最先端の放射線治療機器を有して働くこと大変嬉しく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



模写: 作 西岡 健